JTUC

連合高知

<発行所>連 合 高 知
日本労働組合総連合会高知県連合会
〒780-0870 高知市本町４丁目1-32
こうち勤労センター内
TEL（088）824-5111
FAX（088）824-3002
<発行責任者>岡 林 ゆ り
No.103 2016年３月22日

連合高知第53回地方委員会

連合高知は、２月16日（火）高知会館にて第53回地方委員会を開催し、春季生活闘争期の賃金闘争を中心とした取り組みと春から夏にかけての当面の活動について方針を確立した。

「底上げ・底支え」「格差是正」

開催にあたり折田会長は、「アベノミクスにより、格差が拡大し貧困問題については、高齢者から若者、子供に至るまで全ての世代において拡散している。また、増大し続ける非正規雇用や長年続く賃金抑制の傾向などによって分配のゆがみは強まっている。働く人が報われる政策を取り戻さなければならない。すべての労働者を対象とした「底上げ・底支え」「格差是正」の実現に重点を置いた闘争を展開していく。連合は、新しいキャンペーン「クラシノソコアゲ応援団」を展開中である。また、こうした中で迎える第24回参議院議員選挙は、暴挙を重ねる安倍政権にノーを突きつけ、再び二大政党がお互いに切磋琢磨する政治の足がかりを掴むための極めて重要な政治決戦である。比例区では、すでに12名の組織内予定候補の擁立を決定し取り組みが進められている。選挙区については、高知・徳島合区となり大西　聡氏を候補者とし初めての戦いとなる。推薦候補者の勝利に向け組織が一丸となり比例区・選挙区をセットとし戦いをすすめていく」と訴えた。

Facebook 開設

この度連合高知は、「連合高知Facebook」を開設いたしました。今後、連合高知では、ホームページと合わせて、公式facebookページを利用して情報を随時発信していきます。

この機会にぜひfacebookのアカウントをお作りいただいて、顔が見えるかたちで、つながって頂けると嬉しいです。

facebookってなんだ？やってみたいけど始め方がわからない！という方はこちらをご覧ください。

http://f-navigation.jp/manual/

規模間格差、全国平均との格差
正規・非正規の格差是正と産業全体の底上げ

◆統一要求基準額：≪月額要求≫10,600円以上　≪時間額≫64円以上

◆連合高知『年齢別最低賃金』と「到達目標水準」

連合高知「2016年齢別最低賃金」

年　齢	18歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳
金　額	149,500	152,900	161,500	170,000	179,300	190,800
年差額	1,700	1,720	1,700	1,860	2,300	

目標とする水準値（2014賃金実態の第３四分位を参考として設定）

25歳	220,000円	
30歳	245,000円	（１歳１年間差 5,000円）
35歳	275,000円	（１歳１年間差 6,000円）
40歳	310,000円	（１歳１年間差 7,000円）

◆企業内最低賃金の協定化

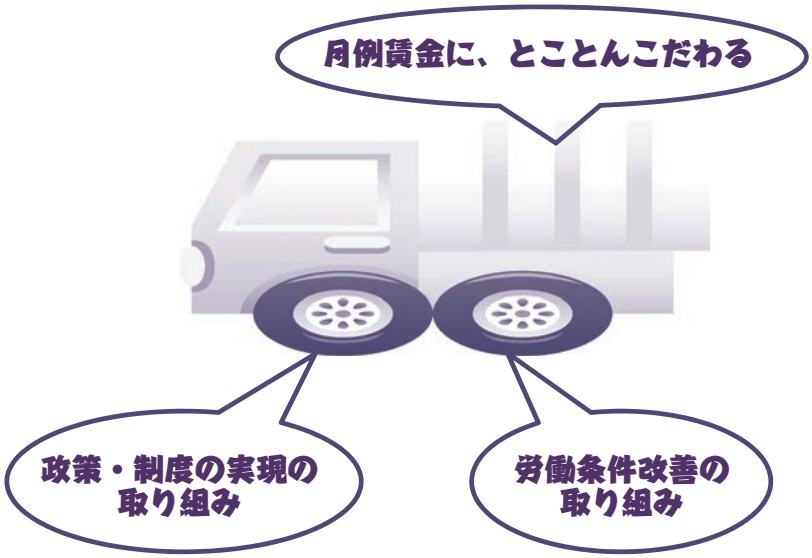
◆ワークライフバランス実現の取り組み

◆非正規労働者の労働条件改善の取り組み

◆一時金の取り組み

◆男女平等社会実現に向けた取り組みと均等待遇の実現

◆ワークルールの確立



質疑・応答

委員から出された意見

- 今年の要求基準額は、昨年よりもさがっている。昨年までは、物価上昇局面であったものの実質その分の獲得ができていない組織もある。
- 戦術配置をどのように考えるか。
- 安倍総理は、同一賃金・同一労働と訴え始めた。正規と非正規の最大の差は賃金である。今後、経営者協会や商工会議所などの話し合いにもこの課題を入れて頂きたい。
- 民主党の発言や行動が弱い。党を支持していく立場として積極的に意見して欲しい。

執行部の答弁

- 確かに、昨年の物価上昇分3.2％は取れていないが、現状の物価は横ばいとなっているので統一の要求基準額の根拠には含んでいない。各構成組織の交渉の中で、それぞれ判断し取り組んで頂きたい。
- 戦術配置は、「総がかり運動」という表現をしている。
- 様々な事象に対して談話や見解を示している。今後も、民主党に対してはっきりと意見していく。

春から夏にかけての当面の闘争方針

[第24回参議院議員選挙の取り組み]

「一強多弱」という構図のもと、立憲主義や民主主義を軽視し、働く者や生活者の声に向き合わない「上から目線」の政治が行われている。今こそ、本来の民主主義、働く者・生活者の現実に焦点を当てた政治を私たちの手に取り戻さなければならない。

こうした中で迎える第24回参議院議員選挙（2016年７月）は、暴挙を重ねる安倍政権にしっかりとノーを突きつけ、再び二大政党がお互いに切磋琢磨する政治の足がかりを掴むための極めて重要な政治決戦である。

≪比例区≫　連合高知の推薦予定候補者　12名

かわい　たかのり	（ＵＡゼンセン、元職）	なたにや　正義	（日教組、現職２期）
えさき　たかし	（自治労、現職１期）	なんば　奨二	（ＪＰ労組、現職１期）
はまぐち　誠	（自動車総連、新人）	小林　正夫	（電力総連、現職２期）
矢田　わか子	（電機連合、新人）	石橋　みちひろ	（情報労連、現職１期）
藤川　しんいち	（ＪＡＭ、新人）	森屋　たかし	（私鉄総連、新人）
とどろき　利治	（基幹労連、元職）	たしろ　かおる	（ＪＲ総連、現職１期）

≪徳島・高知選挙区≫

大西　聡　　（無所属、民主党推薦、新人）

SO GOOD! 政策

第24回参議院議員選挙 徳島・高知選挙区

弁護士 大西（おおにし）　聡（そう）

「ルールを守りましょう」と言われて育ったのに、国の最高権力がルールを守らないとしたらどうでしょう。
実は今、そのようなことが起きているのです。私の考えは次のとおりです。

1 SO GOOD! 国家権力を縛り、暴走を防ぐために作られた憲法にしたがった政治を取り戻します。

その憲法に違反し、国民からたくさんの異議や疑問が出ていたにもかかわらず、安全保障関連法は強行採決されてしまいました。
私は、一旦立ち止まって、国民全体で論議を深め、落ち着いて話をするために、安全保障関連法を廃止します。
万が一の事態には日米安全保障条約の下、個別的自衛権の行使で対処できることや、海外で戦争を支援することによるテロの誘発の危険性があることを理解する必要があります。
安保法を廃止したうえで、日本の平和のために何が必要かを考えます。

2 SO GOOD! 地域・地方が元気にならなければ、国全体は元気になりません。まず足元から、一隅を照らす政治を目指し、地方を愛する「人」が主役の、地方活性化を促進します。

地域・地方の特色や資源、その土地に住まう人ならではのアイデアやネットワークを活かした地方の活性化を実現します。
地方の魅力のアピールとともに、移住支援にも力を入れて取り組みます。

3 SO GOOD! 人は食べなければ生きていけません 命の基である農林水産業等の第一次産業を全力で応援します。

食料自給率の向上や、輸出などにむけて、時代とともに変化したシステムを柔軟に取り入れ、第一次産業を発展させます。

4 SO GOOD! しあわせは結果だけではなく、日々の生活の過程にこそあります。安心して就労し、生活できるような労働法制を実現させます。

目先の利益にとらわれると、労働者の地位を不安定にし、ひいては業績低下を招きます。
目先の利益にとらわれることなく、企業も労働者もともに発展する経済を目指します。

5 SO GOOD! 子育てを支援し、人を育てる教育を推進します。

教育は国の力の基礎になる大切なものです。
学びたい全ての人が、豊かに学べる教育を実現します。
例えば、「奨学金」という名前通りに、学習を奨励する補助金にします。

6 SO GOOD! 女性も男性も平等で暮らしやすい社会を実現します。

女性も男性もともに人として尊重しあえる住みよい社会は発展の基礎です。
そのような平等で暮らしやすい社会を目指します。

7 SO GOOD! 災害対策を強化し、エネルギー政策の転換を図ります。

3.11は、私たちに多くのことを教えてくれました。
この教訓から学び、災害に対する「安心・安全で具体的な対策」を強化し、再生可能エネルギー政策への転換を図ります。

2016春季生活闘争　「闘争開始宣言集会」

地方委員会終了後、引き続き同会場にて連合高知2016春季生活闘争「闘争開始宣言」集会が行われた。集会に参加した120名は、月例賃金の改善をめざして気勢をあげた。闘争に向けた決意表明では、紙パ連合高知県協議会の田鍋進事務局長から、職場状況や春闘における取り組みが報告された。集会の最後には、「底上げ・底支え」「格差是正」に向けた取り組みを進め、経済の好循環をめざす。そして、第24回参議院議員選挙は、今こそ労働者・生活者目線での政治を取り戻すために、組織内比例候補12名と高知・徳島選挙区における大西聡予定候補の勝利に向けて、取り組みを展開していく」とする闘争開始宣言を採択した。